- $|m{1}|_{a}$ を実数とする。以下の問いに答えよ。
 - (1) 2 次方程式 $x^2 2(a+1)x + 3a = 0$ が、 $-1 \le x \le 3$ の範囲に 2 つの異なる実数解をもつような a の値の範囲を求めよ。
 - (2) a が (1) で求めた範囲を動くとき、放物線 $y=x^2-2(a+1)x+3a$ の頂点の y 座標が取りうる値の範囲を求めよ。

- 2 四面体 OABC において、OA = OB = OC = 1 とする。 $\angle AOB = 60^{\circ}$ 、 $\angle BOC = 45^{\circ}$ 、 $\angle COA = 45^{\circ}$ とし、 $\vec{a} = \overrightarrow{OA}$ 、 $\vec{b} = \overrightarrow{OB}$ 、 $\vec{c} = \overrightarrow{OC}$ とおく。点 C から面 OAB に乗線を引き、その交点を H とする。
 - (1) ベクトル \overrightarrow{OH} を \vec{a} と \vec{b} を用いて表せ。
 - (2) CH の長さを求めよ。
 - (3) 四面体 *OABC* の体積を求めよ。

- A、Bの2人が、サイコロを1回ずつ交互に投げるゲームを行う。自分の出したサイコロの目を合計して先に6以上になった方を勝ちとし、その時点でゲームを終了する。Aから投げ始めるものとし、以下の問いに答えよ。
 - (1) B がちょうど 1 回投げて B が勝ちとなる確率を求めよ。
 - (2) B がちょうど 2 回投げて B が勝ちとなる確率を求めよ。
 - (3) B がちょうど 2 回投げて、その時点でゲームが終了していない確率を求めよ。

- 4 t は $0 \le t \le 1$ を満たす実数とする。放物線 $y = x^2$ 、直線 x = 1、および x 軸とで囲まれた図形を A、放物線 $y = 4(x t)^2$ と直線 y = 1 とで囲まれた図形を B とする。A と B の共通部分の面積を S(t) とする。
 - (1) S(t) を求めよ。
 - (2) $0 \le t \le 1$ における S(t) の最大値を求めよ。